

第3回こだいら名木百選選定委員会 会議要録

1 日 時

平成25年8月16日（金）午後1時～5時まで

2 場 所

名木候補の所在地（市内17箇所）

3 出席者

委員長 椎名 豊勝

副委員長 山田 眞久

委員 佐藤 留美、麻生 真樹、棚井 俊雄

4 傍聴者

なし

5 議事等

- (1) こだいら名木百選候補木の現状視察
- (2) その他

6 会議の概要

議事録

事務局

本日は、こだいら名木百選候補木の現状を委員会で視察し、前回の第2回選定委員会で要検討となった樹木についての選定を行いたい。

現状視察1

No.24 クスノキ 所在地：学園西町1-7-5（平櫛田中彫刻美術館）

委員

材としては素晴らしいと思うが、名木としてはどうかと思う。

委員

さらに、九州から持ってきたものであれば、この地に根ざした樹木ではない。名木としては難しいのでは。

事務局

委員会として、No.24については名木としては否とする。

現状視察 2

No.25 老梅 所在地：学園西町 1-7-5（平櫛田中彫刻美術館）

委員

臥龍梅と表現するには、もう少し枝が根に近づいていると好ましいが、樹勢も良く、今後の管理についても期待できることから、名木としてふさわしいと思う。マップに載せることを想定すると、もう少し平櫛田中との関わりを示すエピソードがあるとなお良いと思う。

事務局

委員会として、No.25 は名木として採用したい。

現状視察 3

No.5 プラタナス 所在地：津田町 3-1-6（都営津田町アパート公園）

委員

樹勢が良く、周辺に障害となる建物などがなく、今後の成長が見込める。名木として指定した場合、伸び伸びと育てて欲しい。

委員

幹回りの姿がとても良い。巨木の風格がある。

事務局

委員会として、No.5 は名木として採用したい。

現状視察 4

No.35 サクラ 所在地：小川町 2-1-2-1-1（個人宅）

委員

枝が道路にせり出しており、今後の管理が難しいと思う。また、名木として認定するのであれば、もう少し理由が欲しい。

事務局

委員会として、No.35 は引き続き要検討とする。

現状視察 5

No.11 ヒマラヤスギ（2本） 所在地：小川町 1-1-0-8-2（小平市立第一小学校）

委員

樹形が素晴らしく、特に木を下から眺めた時が良い。剪定も綺麗にされている。

委員

学校の中心にあるのがとても良い。校庭の利用を考えた剪定もされているようで、学校とともに成長している姿がシンボルツリーとしてふさわしく、大樹としてのどっしり感もある。

事務局

東側のヒマラヤスギはどうでしょうか。

委員

東側のものは、学校の中心にあるものに比べて細い。中心にあるものと比べると見劣りするが。

事務局

委員会として、No.11 は学校の中心にあるヒマラヤスギは名木として決定し、東側にあるものについては引き続き要検討とする。

現状視察 6

No.48 イチョウ（並木） 所在地：津田町1-1（市立中央公園）

委員

並木をどのように扱うかということになるが。

委員

単木のイチョウであれば、この程度の木はたくさんある。

事務局

委員会として、No.48 は並木の扱いを検討することとし、引き続き要検討とする。

現状視察 7

No.38 イチョウ 所在地：小川町1-972-2（小川いちょう公園）

委員

幹回りが太くて素晴らしい。樹勢も良い。

委員

自由な枝ぶりが良い。樹形も素晴らしい。

事務局

委員会として、No.38 は名木として採用したい。

現状視察 8

No.31 ハクモクレン 所在地：小川町1-784（個人宅）

委員

枝腐朽の影響によりキノコが生えてしまっている。樹勢が良好とは言い難い。

委員

花が咲いていないため、外から眺める際はどの木がハクモクレンか判別できない。

事務局

委員会として、No.31 は、樹勢が良好とは言い難いため名木としては否とする。

現状視察 9

No.47 カゴノキ 所在地：小川町1-773（小川寺）

委員

根張りに特徴があり、めずらしい樹木である。幹回りが約260センチあり、巨木でもある。委員会推薦としたい。

事務局

委員会として、No.47 は委員会推薦の名木として採用したい。

現状視察10

No.40 ケヤキ 所在地：小川町1-2573（小平神明宮）

委員

幹回りが太く、樹高も高くて素晴らしい。名木にふさわしい樹木ではないか。

事務局

委員会として、No.40 は名木として採用したい。

現状視察11

No.41 イチョウ 所在地：小川町1-2573（小平神明宮）

委員

イチョウとしては、樹高は高いと思う。

委員

他にもイチョウがあるので、引き続き要検討ということでどうか。

事務局

委員会として、No.41 は引き続き要検討とする。

現状視察12

しだれ椿 所在地：小川町1-2573（小平神明宮）

委員

とても珍しい樹木であるため委員会推薦としたい。ただ、樹勢は良いのだが、生育している場所があまり良くない。

事務局

委員会推薦のしだれ椿は要検討とする。

現状視察13

No.21 ホオノキ 所在地：小川町1-2573（小平神明宮）

委員

幹回りが細く、ホオノキとしては葉も小さい。また、生育している場所が他の大木に隣接しているため、どれがホオノキなのか非常にわかりづらい。

事務局

委員会として、No.21 は名木としては否とする。

現状視察14

No.50 ケヤキ（竹内家の大ケヤキ） 所在地：小川町1-583（個人宅）

委員

現在の計測と過去の計測の比較から、幹回りが太くなっており、成長していることがわかる。今後も成長を期待でき、樹高も高く、樹形も素晴らしい。

事務局

委員会として、No.50 は名木として採用したい。

現状視察 1 5

No.29 カツラ 所在地：中島町 2 付近（野火止用水緑道）

委員

カツラとしては幹回りが細い。

委員

他の木も生育している中で、この場所をカツラ並木と表現するのは難しいのではないかな。

事務局

委員会として、No.29 は名木としては否とする。

現状視察 1 6

No.12 タイサンボク（2本）所在地：小川西町 1 - 2 2 - 1（小平市立第十三小学校）

事務局

西門前と校庭内の 2 本での応募となります。

委員

西門前にあるタイサンボクは、西側の空き地に家などが建つ可能性があり、今後の成長を考えると管理するのが難しいのではないかな。校庭内にあるものは、外からも見え、タイサンボクが学校の校歌にも歌われており由来がある。樹形、樹勢も良い。樹種はホソバタイサンボクである。

事務局

委員会として、No.12 は校庭内にあるタイサンボクのみを名木として採用したい。

現状視察 1 7

No.51 サクラ（昇り亀のサクラ） 所在地：小川駅東口

委員

めずらしい形の木で、駅前にあるため地域に親しまれている。

委員

根も立派であり威厳もある。

事務局

委員会として、No.51 は名木として採用したい。

現状視察 1 8

No.36 サクラ 所在地：小川町 2 - 2 0 3 7（個人宅）

委員

サクラとしてはそれほど大きい木ではない。道路にもせり出しているため名木としては難しいのでは。

事務局

委員会として、No.36 は名木としては否とする。

現状視察19

No.37 マロニエ 所在地：小川町2-2012（個人宅）

委員

木としてはそれほど大きい木ではない。

事務局

委員会として、No.37 は名木としては否とする。

現状視察20

No.16 桐の樹 所在地：小川東町4-1-1（国立精神神経センター）

委員

桐の中でも一際大きく、雄大な大木で素晴らしい。

委員

これだけ立派な桐はめずらしい。

事務局

委員会として、No.16 は名木として採用したい。

現状視察21

No.8 タイサンボク 所在地：美園町3-4（小平霊園）

委員

枯れ枝が多く、樹勢が悪い。今後の成長を見込みづらい状態である。

事務局

委員会として、No.8 は名木として否とする。

以上